

白山市立光野中学校 令和6年度 後期 学校評価【重点項目】

「前向きな姿勢、明るい笑顔で過ごせる学校づくり」 ～つながり、関わり合い、学び合いを大切に～

目標	具体的な取組	評価項目	対象	R6前期		R6後期		分析・今後に向けて
				平均値	評価	平均値	評価	
で 生 安 徒 心 が し 喜 て ん 学 で び 登 合 校 え し る 、 学 笑 校 顔	<ul style="list-style-type: none"> ・月に2回程度の学校生活に関するアンケートを実施し、生徒の困りごとや不安に対して即時対応する。 ・ねらいを明確にした授業づくりを進め、生徒に達成感を持たせる。 ・生徒指導主任を中心に、学年や学校全体で連携し、担任が一人で学級経営の悩みを抱え込まない組織をつくる。 	学校は楽しい	生徒	3.5	A	3.4	B	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続きアンケート内容の気になるものに対して即時対応する。 ・「見る観る掲示板」や何気ない声かけ、生活ノートのコメント等あらゆる機会で生徒の存在を価値づけていく。 ・生徒のつぶやきや雑談の中からも生徒同士の関係性や気になる情報に対するアンテナを張り、学年で共有及び相談をする。
		お子さんは、学校を楽しいと思っている	保護者	3.3	B	3.3	B	
		子どもたちは、学校で楽しく過ごしている	教職員	3.3	B	3.2	B	
		いじめられたり、無視されたりすることなく、安心して過ごしている	生徒	3.7	A	3.7	A	
		お子さんは、いじめられたり、無視されたりすることなく、安心して過ごしている	保護者	3.5	A	3.5	A	
		生徒たちは、いじめられたり無視されたりすることなく、安心して過ごしている	教職員	3.1	B	3.2	B	
か 生 り 徒 伸 一 ば 人 し ひ て と い り け の る 力 学 を 校 し つ	<ul style="list-style-type: none"> ・ねらいを明確にした授業づくりを進め、生徒に達成感を持たせる。 ・話し合う場や友達と関わり合って学ぶ機会を意図的に設定する授業づくりをする。 ・望ましい家庭学習のノートを紹介したり、達成感を持たせられる小テストを実施したりする。 	授業は分かりやすい	生徒	3.5	A	3.3	B	<ul style="list-style-type: none"> ・授業のわかりやすさに関して、生徒の評価が2点低下した。どこに分かりにくさを感じているのかを明らかにして教材研究に取り組んでいきたい。 ・ネット依存やスマホの危険性について学び、考える時間を外部機関や保護者と連携する形で設定したが、結果には表れなかった。今後も生徒が自分の時間をどのようにコントロールすべきかを生徒自身が考える機会を設けていきたい。
		お子さんは、授業が分かりやすいと思っている	保護者	2.9	C	2.9	C	
		ねらい（育みたい資質・能力）を明確にした授業を行っている	教職員	3.3	B	3.2	B	
		家では毎日1時間以上、学習している	生徒	3.0	B	3.0	B	
		お子さんには、家庭学習の習慣が身についてきている	保護者	2.6	C	2.6	C	
		生徒たちに家庭学習について具体的に指導している	教職員	3.5	A	3.4	A	
や 明 地 る 域 く か 活 ら 力 信 が 頼 あ さ り れ 、 る 保 学 護 校 者	<ul style="list-style-type: none"> ・学習や行事等の様子をHPにて閲覧できるようにする。また、その頻度を高める。 ・発信する情報の媒体を使い分け、家庭で学校の話題が出来るように努める。 ・キャリア教育や進路に関する学習及び取組は保護者にも積極的に発信し、一緒に考える機会を設定する。 	学校での学習の様子や出来事についてよく話をする	生徒	3.2	B	3.0	B	<ul style="list-style-type: none"> ・情報発信に関する肯定的評価の割合が減少したが、HP更新の頻度やアプリによる配信の数は増加しているので、継続して行っていく。 ・将来の夢や目標に対して生徒の評価が2点減少した。引き続き総合的な学習の時間を中心に自分の生き方を考える機会を設けていきたい。
		お子さんと学校の話をしている	保護者	3.2	B	3.2	B	
		学校の様子を、各種おたよりやメール配信を通して家庭に伝えている	教職員	3.5	A	3.1	B	
		将来の夢や目標を持っている	生徒	3.1	B	2.9	C	
		お子さんは、将来の夢や目標を持っている	保護者	2.6	C	2.6	C	
		生徒たちが将来の夢や目標を持てるように指導している	教職員	3.2	B	3.2	B	
働き方	働き方改革を意識し、効率的な業務改善に努めている。	自らの心身共に健康を保ち、時間のつかい方を工夫するなどして、業務改善を図っている	教職員	3.4	B	3.3	B	・時間外に会議や打合せを入れないよう、日課の調整を工夫することは継続していく、特に行事に関しての業務の偏りを改善していきたい。